

# あなたは大丈夫？ SNSを利用するマナー

LINEやTwitter、FacebookなどのSNSは、友達とコミュニケーションを深めたり、新しい人間関係を広げたり、思い思いに楽しめて人気を集めています。

一方で、つい“うっかり”不用意な投稿をして、トラブルに発展するケースも増えています。SNSはインターネットを通じて世界中の人々とつながっているもの。顔が見えないからこそ、よりいっそうのマナーや心遣いが求められます。

## 例えば その情報、ほんとうに正しいの??

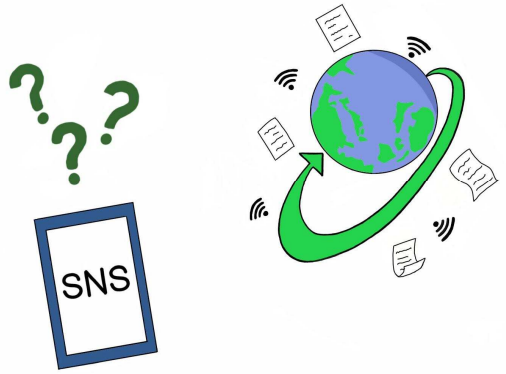
SNS上に、「大きな手術をするのに費用が足りなくて困っている人がいるから、寄付をしてほしい」という書き込みが流れてきました。私も助けてあげたいと思い、拡散して友人に呼びかけました。ところが、この情報はデマで、私の情報を信じて、寄付をしてしまった友人がいました。残念ながら、寄付したお金は戻らず、その友人との友情にひびが入る結果となりました…。

●SNS上にはデマや不確かな情報も掲載されています。決して情報を鵜呑みにしないようにしましょう。

## 例えば SNS上でも、モラルやルールを守りましょう

友人と旅行の最中、友人と2ショットの写真をInstagramに配信しました。友人の名前を記載したわけではないので、とくに了解をもらうことはしませんでした。すると、その友人から、「勝手に顔写真を掲載しないで」と怒られました。

●他人の写真や個人情報を無断で掲載することで、トラブルになることがあります。



## 例えば SNS上の情報は世界中に広まるということを認識しておく

最近ニュースで話題になっている事件について、Facebookに意見を書き込みました。ちょっと過激な意見だったけど、「後で消せばいいや」と思い投稿しました。翌日、その発言を削除しましたが…数日後、ほかのSNSに私が削除したはずの発言が掲載されていました。しかも、私のFacebookの顔写真も一緒に掲載されています。今では、私の名前を検索すると、この発言のページが検索サイトのトップに表示されてしまいます。

●SNS上に、一度発信した内容は完全には削除することができません。



## 例えば 画面の向こうには人がいます

今日、友人とけんかをしてしまいました。むしゃくしゃしたので、その友人の悪口をTwitterに書き込みました。友達の名前はイニシャルにしたはずなのに、その友人や周りには、その書き込みを知られてしまいました。

●誹謗中傷は人権侵害につながります。時には、名誉毀損罪や侮辱罪に該当する場合があります。匿名であっても、個人を特定されてしまいます。

